

D.Live 団体・講演概要資料

ご挨拶

この度は、講演・研修をご検討いただき誠にありがとうございます。

私たちは子どもの自尊感情を育てることの大切さを知ってもらうために、全国各地の子育てや教育に関する講演や研修の講師をつとめて参りました。

分かりやすく楽しんで聞いてもらうことはもちろん、漢方薬のように長くじわじわと聞き手の心に残る講演・研修をおこなっております。

少しでも私たちD.Liveがお力になれるのであれば、幸いです。

NPO法人D.Live

Contents

- 1、D.Liveの理念
- 2、活動内容のご紹介
- 3、講演テーマ例・講演実績など
- 4、講演までの流れ、スタッフプロフィール、講演依頼にあたって

講演のご依頼は info@dlive.jp

もしくは <http://www.dlive.jp/kouen-kensyu/> のフォームより



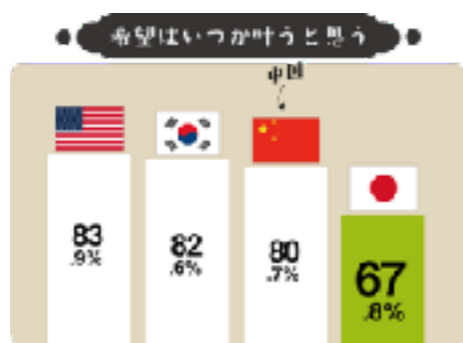
誰もがどんなときでも自分の可能性を信じられ前向きに挑戦できる社会へ

D.Liveは自信が持てず苦しんでいる子ども達に「自分を大事にしてくれる安心感」と「成功体験」が得られる居場所をつくるNPOです。

D.Liveが 取り組む 課題

いまの子ども達は将来に希望がない

子どもに関する様々な調査から、将来に対して希望がない子どもが多いことが指摘されている。



H27年度国立青少年教育振興機構調査より

自分に自信が持てず苦しんでいる



自分はダメだと思う子どもが72.5%もいる。専門用語で自尊感情の低下と言われる。

背景には

地域の大人との関わりの減少にともない「自分を見てくれている」という感覚の少なさ

情報化社会の発展と価値観の多様化による理想像と比較対象の増加

SNSの普及による「他者から見られる自分」を強く意識する環境

だから

大事にしてくれる安心感

自分のことを理解してくれる大人がいる安心できる居場所を地域につくる必要があるとD.Liveは考えます。

できた！という経験

将来に希望が持てるために、子どもに合わせた小さな成功体験を重ねることが重要だとD.Liveは考えます。

D.Liveが 始まった キッカケ

はじめまして。代表の田中洋輔です。 私は、高校生のとき不登校になり、

大学生のときには引きこもりを経験しました。ガンバリたくてもガンバレない。もやもやする気持ち、自分で自分がよく分からない苦しみ。なにがしんどいのかすらわからない、そんな気持ちでした。

「誰も自分のことなんてわかってくれない」と、本気で思っていました。

そんな気持ち、孤独な思いを子どもたちに味わって欲しくないのです。

今、子どもたちは自分に自信が持てず、小学生が鬱になって病院に通うことも珍しくありません。

どんな子どもたちにも可能性がある。

そう信じているからこそ、子どもたちのために、なにかしたいと思って、この団体を立ち上げました。



メディア 掲載

NHK「おはよう関西」 京都新聞 朝日新聞 中日新聞
読売新聞 FM滋賀 FM草津 greenz.jp など

団体概要

法人名：NPO法人D.Live（ドライブ） 主な活動地：滋賀県草津市、大津市
法人設立：2012年 スタッフ：3名 ボランティア約30名

D.Liveの活動内容

安心感と成功体験が得られる子どもの居場所づくり



TRY部 (トライ部)

日時：月曜・金曜19:30 - 21:30
場所：滋賀県草津市
対象：中高生

TRY部は1週間の目標づくりと、生活のふり返りを通して、自分で考え、自分で行動する力をつける教室です。大人が使うような手帳を渡して毎日の行動を記録させたり、家で学習する習慣が身につくワークショップをしたりしています。

生徒の声 (中3 女子)

モヤモヤしていることを何でも話せてスッキリできます。思っていることを聞いてもらえて本当に嬉しいです。学校や家以外の場所は、私たち思春期のみんなにとって必要です。



TudoToko

日時：木曜 18:00 - 20:00
場所：滋賀県草津市
対象：ひとり親 中学生
草津市ひとり親家庭居場所づくり委託事業

TudoToko (つどとこ) は草津市のひとり親家庭の中学生のための居場所です。一緒にテスト勉強をしたり、ご飯を食べたりしながら異年齢の交流を促し、自己肯定感をそだてます。

生徒の声 (中3 男子)

つどとこに行くまでは基本的に家にこもっていましたが、つどとこに行ったことで、学校とは違う場所での友だちを作ることができたので新鮮だった。そして、心なしか外に出る機会が増えたように思います。



昼TRY部

日時：月曜・水曜・木曜
10:00 - 13:00
場所：滋賀県大津市
対象：小5～高3

昼TRY部は不登校の子どもたちが通えるフリースクールです。様々な理由で学校にいけなくなった子どもたちにとって、勉強ができる場と同年代の交流ができる場になっています。

保護者の声

学校に行こうとすると体が硬直して動けなくなっていた息子は、昼TRY部には元気に家を出ていきます。表情が明るくなり、家のお手伝いも増えました。評価されない、ありのままの自分を受け止めてもらえる居場所に出会えたことに感謝です。

親が子どもの気持ちを理解するための講座 不登校の家庭へ定期的な面談などの個別サポート



不登校のおはなし会

不登校の子どもとの関わり方や進路の悩みなど、保護者さんたちが同じ目線で話せる会です。ここで保護者さん同士のつながりがたくさん生まれました。

不登校サポートパック

保護者さんとの定期的なメールサポート、子どもとの定期的な個別面談など、不登校の親子を支援する事業です。学校に戻るためのステップやD.Liveの教室に通うためのステップとして利用していただいています。

その他、思春期・不登校についての保護者向け講座

スタッフの不登校経験談や、事業でわかった思春期の子どもの気持ちなどを保護者向けにお伝えします。



「自信が無くてやりたいことができない」 子どものイマを理解するための社会に向けた情報発信



子どもの自信白書

自尊感情 (自己肯定感) とは何か、を多くの人へ知っていただくため、冊子を発行しています。300人ほどの子どもアンケートやインタビュー、専門家への取材などを掲載。子どものキモチやどんなことで困っているかがわかる1冊です。白書をもとにした講演活動もしています。

講演・研修

D.Liveが大切にしているのは、自尊感情 (自己肯定感) です。なぜ、子どもたちが自尊感情が持てていないのか？どのようにすれば、自尊感情を高めることができるのか？学校や保護者、PTA、地域で子どもと関わる方々へ向けにお伝えさせていただいています。

D.Liveの講演テーマ例や講演実績

■ 講演テーマ例

保護者/PTA向け	・子どもの意欲を引き出すコツ 怒るのに疲れたあなたへ ・よくわかる不登校講座	・私は私であって良い ～地域で暮らす子どもたち、大人たちの笑顔を増やすために大切なこと～ ・子どもたちの「どうせムリ」をなくすために ～大人の私たちが今できること～ ・子どもたちが幸せな子ども時代を過ごすために、いま私たちができること
地域向け	・子どもたちの「どうせムリ」をなくすために ～大人の私たちが今できること～ ・思春期の子どもとどう向き合う？今の子どもとの関わり方	・子どもたちが幸せな子ども時代を過ごすために、いま私たちができること ・子どもの貧困を解決するために ～ひとり親家庭支援の実践から見る地域と子どものつなぎ方～
高校生/大学生向け	・よくわかる自尊感情講座	・大学生がやりたいことを見つけるために今スグやるべきこと
学校・教育委員会向け	・学校だからできる子どもの自尊感情の育てかた ～ただ褒めるだけでいいのかと思い始めたアナタへ～ ・高校生の自尊感情を高めるための”こいびと”のススメ	

※テーマや演題は希望に合わせて新しく決めることもあります。講演の内容は、子どもの自尊感情を伸ばす関わりかた・思春期を中心にした子どもの気持ち・不登校の対応、子どもの貧困などを理論と実践の両方から話します

■ 講演実績（一部）

保護者/PTA	滋賀県：治田小学校、志津小学校、玉川小学校、瀬田北中学校、草津第二小学校、近江八幡市立八幡西中学校、近江八幡市立八幡西中学校、老上西小学校、祇王小学校 京都府：大山崎中学校 大阪府：岸和田市PTA協議会 その他：横浜市泉区PTA連絡協議会、島根県双葉保育所など
地域/市町村/ 市民団体など	滋賀県：、木之本ライオンズクラブ、東近江ロータリークラブ、草津ロータリークラブ、大津市社会福祉協議会、渋川学区社会福祉協議会、東近江市社会福祉協議会、高島市人権教育推進協議会、守山青年会議所 京都府：精華町 大阪府：JUSO Coworking らいとびあ21 その他：神奈川県南足柄市、千葉県市原青年会議所、鳥取県倉吉市、大分県中津青年会議所など
高校生/大学生	滋賀県：滋賀大学、聖泉大学、立命館大学 京都府：京都精華大学 大阪府：梅花女子大学、大阪教育大学 その他：千葉商科大学、
学校・教育委員会	滋賀県：滋賀県教育委員会、守山市人権教育課、大津清陵高等学校 教職員研修、東近江市人権研修大会（教職員向け） 大阪府：茨木市教育委員会

■ 講演参加者・ご依頼者さまの声（一部）



・私は今まで「子育て劣等生」だと思いながら子育てをしてきました。自尊感情が低いまま、子どもと向き合っていたのだと気づきました。「がんばらない・自分を否定しない・答えを探さない」ように心掛けたいです
・怒ってしまうということは、結局子どもに期待をたくさんしていたのだなとわかりました。期待しすぎず、がんばりすぎず、やっていきたいなと肩の力がぬけてよかったです



「子どもの意欲を育むコツ 怒るのに疲れたあなたへ」というテーマで講演いただきました。保護者のための講座を実施するため情報収集していたところ、「子どもに自信を」と幅広く熱心な活動をされているD.Liveさんのことを知り、お願いしたものです。自尊感情についての解説、日ごろの活動での実践から得られた子どもの意欲を育む関わり方等について、とてもわかりやすく楽しくお話しいただき、参加者からも「目からウロコ」「楽になった」等、ご好評をいただきました。（茨木市教育委員会担当者）

講演までの流れ、スタッフプロフィール、講演依頼にあたって

■ 講演までの流れ

1、講演依頼のお問い合わせ

希望の日時、講演の主旨、場所、予算などをHPの講演問い合わせフォームからご連絡ください

2、実施日時などスタッフからのお返事

希望の日時に合わせて講演可能なスタッフからお返事させていただきます。

3、事前のお打ち合わせ

講演テーマや演題、内容、準備物、謝金や交通費の支払い方法などを担当のスタッフがお打ち合わせさせていただきます。

4、講演の実施

担当スタッフが講演いたします。もし可能でしたら、後日に参加者の感想や反応などお教えいただくと幸いです。

■ スタッフプロフィール（講師写真など告知にあたって必要なものは追ってお送りいたします）

田中洋輔

立命館大学文学部卒。
甲子園を目指し、大阪の強豪校に入るも挫折。野球部を辞め、不登校、引きこもりを経験。
浪人して大学へ入り、政治家インターンやテレビ制作に関わり、社会を変える仕事を目指すようになる。自分自身の経験を元に、しんどさを抱えた子どもになにかしたい、自信を持ってなくて苦しむ子どもを救いたいと思い、2009年にD.Liveを立ち上げる。子どもや保護者に寄り添うことを大切にし、「わかりやすい」「楽しい」講演や研修をモットーにしている。



得津秀頼

大阪教育大学卒。
大阪府の小学校で4年間教師を勤める。学校現場では、自信の無い子、親の期待に過度に応えようとする子、愛情に飢えている子など、一見すると「普通の子」の裏にある悩みや問題に向き合ってきた。その経験から、子どもが「愛されている」と実感できることが今の教育現場では重要だと気づく。
「子どもの良い所も悪い所もそのまま受け容られるようになること」を願って学校の先生や子育て中の保護者に向けて講演し続けている。



山本駿

東海学院大学卒。
子どものときから過度に敏感な特性を持ち、また学校での人間関係に悩み、環境を変えるために中学受験に挑むも失敗。その結果中学入学と同時に不登校の道を選択し3年間を過ごす。その後、単位制高校に進学するも教師の圧力に耐え切れずに入學2週間で再び不登校となり、通信制高校への転入を余儀なくされる。
不登校当事者を含めた小中高生の居場所や相談場所が足りていない現状を痛感し、自身の体験談や生徒のストーリーを伝え、一人でも多くの不登校当事者の悩みを解決するヒントを届けている。



■ 講演依頼にあたって

講演時間：ご提案に沿って講演の内容を考えさせていただきますので、時間は何分でも結構です。宿泊を伴う場合もご遠慮なくおっしゃってください。

謝金など：3万円+交通費からお伺いしております。ですが、団体様や内容、時間などによって変わることがございます。講演料に関してはご相談ください。

講演エリア：講演実績にもあるように、全国どこでもお伺いさせていただきます。

講演内容：テーマに合わせた講演+参加者が交流できるワークショップや、ワークショップのみも可能です。ですが、ワークを入れるとどうしても時間をとるので90分からはお願いしております。子育てや教育以外をご希望ですと、webライティングやファンディングなどNPOの経営に関することでもお話できるかと存じます。

記録について：当日は写真や動画で撮影し、発信していただいて構いません。こちらも活動報告としてスタッフの写真や講演動画の撮影をお願いすることもございます。もちろん、参加者の方々が映らないようにいたしますので、ご協力いただけますと幸いです。